



<ライダー春満開！白熱のGRAジムカーナグランプリ第1戦>

まだ肌寒いとはいえ春の訪れを感じさせるさわやかな陽気のなか4月2日（日）京都日立ドライバースクールにおいて初のジムカーナ全国シリーズ戦「GRAジムカーナグランプリ」の第1戦が遂に行われた。このグランプリはより多くの人々にもっとジムカーナを知ってもらいその輪を広めようとするもので今年は今回の京都での第1戦を皮切りに香川、長野、広島、名古屋、大阪と6カ所を転戦していく予定だ。

この日全国各地から集まった参加者は総勢100名を越え、開会式では東京からきた五十嵐昭子選手と長野県からきた武田昌樹選手による選手宣誓も行われ、グランプリの幕開けとなった。

競技・コース説明の後コースの下見を念入りにし（慣熟歩行と業界では呼ぶ）GRAのモットー「全員スタッフ参加」で参加者全員がマーシャル、タイム測定や記録などのスタッフにつきタイムアタックが始まった。参加者はGRAイベントや他のジムカーナ大会の参加実績からGRA独自の計算で出したタイム指数という速さの指数により遅い順にB～Eクラス、初参加で大会等で実績のない人はAクラスとクラスわけし、午前と午後の2回Aクラスから測定が行われる。各クラスには同等の速さの人が集まる為、誰にでもクラス入賞の可能性があるというわけでもう始まったと同時に白熱した走りがくりひろげられ、コースレコードは次々とぬりかえられていき思わず息をのむ瞬間も。コースはなぜか「京都観光」と名付けられ各セクションには京都の有名な観光地などの名前が付けられていた。

またこの京都GPの参加条件にテーマ色に応じたコスチュームの指定があり今回はGP開幕にちなんで色々な可能性を秘めた「白」だったが「まあ月光仮面くらいはいるだろう」と思いきや純白のウエディングドレスを身にまとった乙女の姿が。（もちろん走るときはこの姿ではなくかっぼうぎ姿だった）さすが笑いの殿堂関西ならではの光景である。タイムアタックの後には30分程練習走行も行われ、疲れを知らない選手達が全開で走りまくった。

そしてみんなで会場をきれいに清掃した後、閉会式を行い参加者の持ち寄ったプレゼントを全員で交換しあい、クラス入賞者や特別賞の表彰、お楽しみ賞品争奪じゃんけん大会でまた異常な盛り上がりを見せ、最後にGRAの代表者小林裕之氏による閉会のあいさつにより幕を閉じた。

残念ながら桜はまだ咲いていなかったけど会場ではこの日一日華が咲いたようにみんなが輝いていた。この輝きがあるから、ジムカーナって楽しい。みんなもこのグランプリで輝こう！そしてジムカーナの魅力を全身で感じとってほしいと思う。